

令和7年度 農林水産委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 令和7年8月25日（月）～27日（水）

◆調査先・調査内容

①近江牛岡喜グループ（滋賀県蒲生郡竜王町ほか）

調査内容：近江牛の生産・流通の取組について

近江牛岡喜グループは、1839年に家畜商を創業して以来、時代背景の変遷とともに業態を変化させつつ、現在はレストランやミートショップを営む株式会社岡喜商店、近江牛の肥育を営む有限会社岡喜牧場、近江牛の加工・販売を営む株式会社オカキブランズフーズなどでグループを形成している。

近江牛は、神戸牛、松阪牛に並ぶ日本三大和牛の一つで、きめ細かい霜降りと甘く上質な脂が特徴で、柔らかい食感と深い旨味が評価されている。

近江牛岡喜グループは、飼料や水、牛に良いとされることは何でも試すという熱意で、より美味しい近江牛づくりのために伝統の飼育技術を日々磨いている。また、生産・加工・販売を極限まで内製化しており、牧場で丹精込めて育てた近江牛を、加工場で安全に処理し、直営のレストランなどで提供している。

今回の調査では、近江牛岡喜グループの生産・流通の取組についての説明を受けた。

＜主な質疑等＞

- ・販路拡大に向けた取組について
- ・トランプ関税の影響について
- ・飼料の入手について



②愛知みなみ農業協同組合（愛知県田原市）

調査内容：輪菊の生産・流通の取組について

愛知みなみ農業協同組合は全国トップクラスの輪菊生産地として知られており、輪菊部会には616名の生産者が属し、年間出荷数量は単箱換算で約192万8千ケースと非常に大規模となっている。

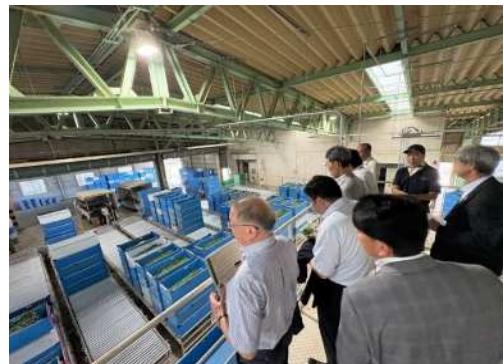
主力品種には神馬、精興の誠、精の一世、岩の白扇、精の光彩などがあり、品種ごとに出荷時期を調整して一年中安定した供給を実現している。

平成8年に設立したマムポートセンターは、日本最大級の菊の自動選花梱包施設で、トレーサビリティを徹底しながら高品質な出荷を可能にしている。また、彼岸などの繁忙期には圃場巡回を通じて生育管理や高温対策を協力して実施し、安定出荷を支える仕組みも整えられている。

今回の調査では、輪菊の生産・流通の取組についての説明を受けた。

＜主な質疑等＞

- ・等級の数と各等級の割合について
- ・生産コストなど物価高の影響について
- ・外国人労働者の割合について



③愛知県（愛知県名古屋市）

調査内容：あいち農業イノベーションプロジェクトの取組について

愛知県は全国有数の農業産地で、令和3年生産農業所得統計によると、農業産出額は約3千億円、全国第8位となっている。

品目別順位では、花きが全国第1位、野菜が第5位、麦類が第7位となっており、園芸部門は全国でも上位を占めている。

そのような中、愛知県では令和3年度から県の農業総合試験場、大学、スタートアップ等を連携させ、新技術を使って農業の課題を解決しようとする、あいち農業イノベーションプロジェクトに取り組んでいる。

このプロジェクトは、県が技術シーズと現場の課題をつなぎ、社会実装を加速させる仕組みとして機能しており、農業の持続可能性・効率性・革新性を同時に高める狙いがある。

今回の調査では、あいち農業イノベーションプロジェクトの取組についての説明を受けた。

＜主な質疑等＞

- ・スタートアップ等からの技術提案の募集回数や応募数について
- ・本プロジェクト実施に伴う研究員の反応について
- ・乾田直播の取組状況について

